

養気軒

ようきけん

『さわやかな笑顔と思いやりの心で、安心、安全な満足される医療をめざします』
そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。

●ようきけんとは「病む人の病のみならず心をも癒すことの出来るところ」という意味です。

Hospital Director Greetings

年頭のご挨拶

長崎川棚医療センター 院長

植木 俊仁

Toshihito Ueki



新年あけましておめでとうございます。
院長就任後、初めてのお正月を迎えさせていただきました。

昨年はコロナ禍もようやく下火になり、普段の生活を取り戻した感もありましたが、医療を取り巻く環境（特に新任院長を取り巻く環境）はますます厳しくなっています。次々に出て来る様々な問題に泣きっ面に蜂状態で、「またですか？ 今度はなに？」と大して知恵もない頭をいたずらに悩ます日々が続いておりました。

最近では半ば開き直って、「温かい寝床があって三度三度温かいご飯が食べられるだけでもありがたいことだ。なんて自分は幸せなんだ。」と自分に言い聞かせています。そして経営・管理ばかり考えている自分にふと気づき、「医者を目指したころの自分を思い出そう。今一度病院（hospital）と共通の語源をもつ [hospitality=おもてなし] の心に立ち返ろう」と言い聞かせています。

当院は基本理念に「さわやかな笑顔と思いやりの心で安心、安全な満足される医療を目指します。そのために、患者さんは言うまでもなく全職員ひとり一人を大切にします。」と掲げています。

院長として、病院全体が思いやり（sympathy）と親切心（kindness）にあふれ、おもてなし（hospitality）の心で患者

さんに接することができる病院、ひいてはこの地域になくてはならないと思ってもらえる病院を目指していきたいと思っています。

そのためにも職員ひとり一人に「この病院で働けて良かった」と思ってもらえる環境を整えることが、院長としての今年目標です。

院長就任のあいさつでは、「趣味はランニング」と書きました。しかし、心にゆとりがないせいか走るのはさぼり気味なうえに、ストレスのせいか食べる量は増えてしまって、ここ半年で8kgほど体重が増えました。最近では体重計に乗るのも嫌になって正確な体重は不明です。更にすくすくと育っているものと思われれます。重たいです。

「健全な精神は健全な肉体に宿る」と言いますので、今のわたくしの精神状態は健全とは程遠いものと思われれます。健全な精神を取り戻すためにも、健全な肉体を築き上げることをわたくし個人の今年目標にしたいと思います。まずは時速8kmのジョギングから…。

本年もよろしく願い申し上げます。



『2024健康フェスタ～これからも地域と共に～』を開催しました!!

管理課長 **安藤 隆幸**

11月16日(土)に健康フェスタを開催しました。コロナ禍の影響により実に5年ぶりの開催となったため、「来場者があるだろうか」と心配しましたが、当初の雨予報から曇となるなど天気も味方してくれて、地元の川棚町、波佐見町、東彼杵町のみならず、長崎市、諫早市、大村市、佐世保市や嬉野市、佐賀市などからもご来場いただき、ますます盛況に終わることができました。

イベントは、【大人向け】と【子供向け】に大別して、【大人向け】では『骨健康測定』『血管年齢測定』『栄養相談』『お薬相談』などの測定や相談などを、【子供

向け】には『リハビリ体験』『看護師体験』『内科診察体験』『薬剤師体験』『手術体験』などの体験型イベントを実施しました。その他、入院患者さんの作品展示やAED体験、手洗い体験なども行いました。子供たちは、子供用の白衣を着用してイベントを体験していましたが、子供たちよりも親御さんたちの方がはしゃいでいるようでした。

また、初の試みとしてキッチンカーやベーカリーに出店いただきました。当初の心配を他所に、いずれも完売だったようです。



ご協力いただいたアンケートでは、「私にとってはとても良い一日だった。ありがとうございます。」(大人・女性)、「子供達に病院のお仕事を体験して欲しかったので参加しました。とても貴重な体験ができ、楽しく勉強できたようで参加できて本当に良かったです。ありがとうございます。」(大人・女性)、「(患者さんの)作品を見させてもらいましたが、皆さん素晴らしいですね。」(大人・男性)、「いろいろな体験ができて良かったです。薬剤師になりたいと思いました。またやりたいです。」(子供・女性)、「あまり体験できないこと

をして、とても面白かったです。電気メス体験も面白かったです。」(子供・女性)、「どれもとても良い体験ができました。少し看護師さんになってみたいになりました。もしなったら、この体験を未来に活かしたいと思いました。全部楽しそうだと思いました。この体験ができて良かったです。お医者さんや薬剤師など、人を助けることができる仕事もやりたくなりました。」(子供・女性)などの心温まる感想をいただきました。

より楽しんでいただけるイベントを企画して今後も開催してまいりますので、是非ご参加ください。

令和6年度 神経・筋難病看護 エキスパートナース研修を開催して



教育担当師長 **松本 深雪**

11月5日～8日の4日間、国立病院機構九州グループ主催「令和6年度 神経・筋難病看護エキスパートナース研修」を行いました。この研修は、神経・筋難病の政策医療を担う当院が国立病院機構九州グループの依頼で開催しているものです。

九州グループの8施設から神経・筋難病看護のリーダー的役割を担う看護師計11名が、各施設の現状と課題を持ち寄り研修に臨みました。

研修初日は緊張もあって表情が硬かった研修生も、2日目に開催した懇親会を機にコミュニケーションが図られ、川棚のおすすめスイーツの話から自施設での様々な取り組み活動など活発に情報交換を行う様子が見受けられました。



神経・筋難病に関する講義や、患者さんの立場からの講演などを聴き、「神経・筋難病患者さんに対する看護師の役割や患者の立場から話が聞け、自分自身の看護の振り返りになった」「研修がとてもいい刺激になった」といった意見が聞かれました。

本研修を経て自施設における神経・筋難病患者の皆様や看護師としての役割を発揮されることを期待しています。



園芸ボランティア『園芸やろう会』のご紹介

主任児童指導員 **浦川 萌**

今年もボランティア『園芸やろう会』の皆様によって外来ラウンジ及び外来駐車場一角の花壇にパンジーやビオラなど300本以上の花苗が植えられました。

『園芸やろう会』の皆様は、年2回(6月、11月)の活動で当院を支えていただく貴重なボランティア団体です。常に精鋭揃いであり、花壇があつという間に色鮮やかになります。整えられた花壇が患者さんや来院される方々の癒しスポットになれば幸いです。

『園芸やろう会』の皆様、寒い中にもかかわらず花壇を整備していただき、誠にありがとうございました。



まだまだですね! : 診療科紹介(脳神経内科)

脳神経内科医長 永石 彰子

先日の新規紹介患者さんは、隣のH町にお住まいとのこと。長年、大村市内の病院まで通院してパーキンソン病の治療を続けてきたけれど、通院に1時間かかるのが大変。どこか近くの病院で診てもらえないかなと思って人に聞いたたら、長崎川棚医療センターにも脳神経内科があることを知った、とのことで病院を替わりたいと紹介されてきましたが…。

えー、川棚に脳神経内科があるってこと、パーキンソン病の患者さんがたくさん通院してるってこと、知らないの?

私たち、毎日頑張っている自負はありますが、まだまだ地域の皆さんにはご存じいただいていないということです。精進、精進!

ちなみに私は、「80歳以上で当院神経内科を新規受診したパーキンソン病およびその疑い173症例の検討」という報告を2018年日本神経治療学会で行いまし



た。それまでの10年間分のデータをまとめたところ、パーキンソン病関連での新規受診は全体で759症例、そのうち80歳以上が173例。遠くは福岡、熊本からの受診もありました。経験値はそれなりにあるんです、長崎川棚医療センター脳神経内科。この機会に、どうぞお見知りおきを。

部署紹介(臨床研究部)

臨床研究部長 福留 隆泰

臨床研究部は、病院での小さな発見を形にして発信していくお手伝いをする役割を担う部署です。自分だけが知っているチップスを皆と共有して、患者さんに還元しましょう。

小さな発見は、発信することで誰かの目に触れて大きく育つ可能性を秘めています。大発見とすればなおのこと、発信して世に広めなければなりません。だからこそ、学会発表や論文作成などの発信は重要です。

ただしそういった発見を発表したり論文にするためには作法があり、皆が納得できるように形式に則って作らなければなりません。それが研究です。自分の発見を皆に納得してもらうにはどうしたらよいか?その方法を一緒に考えています。



臨床研究部では、倫理委員会で研究が適切かどうかを審議します。適切かどうかの判断基準は様々

ですので、病院外の外部委員にも参加していただいております。研究の内容を分かりやすく説明してもらっています。研究計画書を書いていると、自分自身は良く分かっている、他の人には分かりにくい文章になりがちなためです。

その他、臨床研究部では治験審査委員会で治験が適切かどうかを審議します。新しい薬が患者さんに届く役割を担っています。また神経難病の発症機序に関する研究や治療薬の開発(創薬)にも携わっています。こうすれば患者さんはもっと良くなる。そんなアイデアを形にして発信していきたいと思えます。

編集後記

副診療放射線技師長 麥田 計介

新年おめでとうございます。皆様方におかれましては、良い年末年始をお過ごしになられたかと思えます。本年もよろしくお願ひします。

新年会シーズンを迎え、楽しみにしている方もたくさんおられるでしょう。とはいえメディアによると新型コロナの新しい株が、今までより強い感染力をもっていると報道されているのを目にしました。行動制限はな

いものの、感染防止対策を行いつつ、普段の生活をおくれたらと思います。

本年も物価の高騰が続くのでしょうか。明るいニュースが多くなることを期待します。

まだまだ寒い時期が続きますが、皆様方、体調を崩さないようお過ごしください。